

オンライン授業

新型コロナウイルスの感染で実施すると答えたのは5%
拡大は、子どもたちの学ぶ権利を脅かしている。緊急事態宣言拡大などの事情から、県内でも一部の地域や私立高校で再び休校になった。家庭学習を支える手段の一つとして、オンライン授業の普及が期待されている。

学ぶ機会を保障したい

インターネットを通じて自宅にいる児童生徒が教材動画を聴講したり、教師と双方向でやり取りしながら学ぶスタイルなどがある。今月16日時点の文部科学省調査では、休校措置を取る全国の教育委員会のうち、この同時双方向型

ないことが背景にある。全国の公立学校に配備された端末は昨年3月時点で、子ども一人に対して1台の割合だ。世界的にも日本の教育現場でICT活用の遅れが指摘されている。一様に行き届いていない状況ではないと見え、コ

ロナ禍にあつて韓国や米国などでは早々にオンライン授業に切り替えた。文科省は休校措置を受け、遠隔授業の取り組みを加速させている。2023年度までに小中学校で1人1台のパソコンを揃える「GIGAスクール構想」の前倒しを決め、機器や家庭に貸与できるようにモバイルルーターなどの配備を急ぐ。休校となった地域ではテレビ放送やオンライン教材などを活用し、学習に著しい遅れが生じないように求めた。

校では、休校時の指導継続に頭を悩ませているだろう。長期化するほど、地域、学校、家庭の事情で学びの格差を広げかねないのが心配だ。学校ごとに現実的な対応を講じる必要がある。家庭のネット環境を調査し、未整備の家

庭に端末を貸し出せるのか。その上で、できることから取り組みを模索したい。教員らは日々、感染対策に追われながら教育活動に励んでいる。一方で「3密」となりやすい環境や通学手段などに、児童生徒が不安を抱えつつ登校を続けている現実もある。学校は、単なる学習の場ではない。教員と児童生徒が信頼関係を築き、集団生活を通して生きる力を育む場でもある。それも、安心・安全が担保されることが前提だ。学びの機会をどう保障していくか。対面の教育が難しくなっている今、そのあり方が問われている。

- 1. 休校措置に伴い、家庭学習を支える手段の一つとして普及が期待されていることはどんなことでしょうか。
2. 休校措置を取る全国の教育委員会のうち、オンライン授業を同時双方向型で実施する割合はどれくらいだったでしょう。また、その理由はなぜでしょう。
(実施率)
(理由)
3. 「GIGAスクール構想」とはどんな構想でしょう。
4. 「オンライン授業」について、あなたが抱えているイメージや「オンライン授業」で実施してほしい内容、および期待することなどを150字程度にまとめましょう。

Grid for writing answers to question 4.

年 組 名前